

広報ただみ診療所

自分の孫がコロナになったら

朝日診療所 医師 もり 森 ふゆと 冬人



今原稿を書いている時点では町内で子供の新型コロナ感染者はほぼいません。しかし、国内のほとんどの場所では保育所や小学校での流行も当たり前起きています。今の世の中の状況であれば、近いうちに町内でも子供の新型コロナ患者もでるでしょうし、保育所や小学校での感染・流行も多かれ少なかれ、起きるでしょう。

もし、自分の孫や子供が、保育所や学校で一番はじめにコロナになったら、子供や家族はどんな気持ちでしょう。きっと、周囲の人へ申し訳ない気持ちが生まれるでしょう。同級生や周囲の大人に嫌なことを言われなにか不安でたまらないかもしれません。

今の新型コロナウイルスの広がる力は非常に強いです。日頃から真面目に感染対策をしている医師・看護師でも、どこで感染したかわからないうちに感染してしまうほどです。私の知り合いの医師・医療関係者も何人も感染しています。福島県の人口のうち30人に1人以上は感染した事があるのですから、珍しい事ではないです。幸いな事は、予防接種の普及や変異株の性質のおかげで、重症になる人は非常に少ないことです。

だから感染してしまった町内の方を責める事は、私にはできません。私だって職場で一番に感染してしまう可能性があるからです。

感染してしまった方の不安な気持ちや苦しみを想像すること。感染後に無事に仕事や地域に戻ることができた方を祝福できること。そんな寛容な態度を持てる大人でありたいと、私は思います。

保育所や学校、町内の職場で新型コロナが広まることは今後もあるでしょう。感染者をゼロにすることは非常に困難です。きっと嫌になるほど聞いた、予防接種・マスク・手洗い・換気も「感染予防」のためには大事ですし、医療者としてそこは強調します。しかし、私たちの人生も生活も「感染予防」が最も大事かと言われるとおそらく違います。それより大事な事は、人それぞれの価値観にもよるので決まったものはありません。「感染予防」以外にも大事にしたいものってなんだろうと考える今日この頃です。

地域おこし協力隊として vol.90

只見町教育振興協力隊 なかしま みほ 中島 美穂



4月18日教育委員会に着任しました中島美穂と申します。

主に、只見高校振興対策担当として、山村教育留学生の募集活動と留学生とその保護者様のサポート等をさせていただいています。とは言え、全てが初めての事だらけで、周りの皆さんに教えていただきながら何とかやっているところです。

私は、5年程前に移住のイベントで只見町を知りました。そこで町の様子を聞き興味が湧いたので、早速行ってみると絵に書いたような山々に、碧く澄んだ川、澄んだ空気、そして何と言っても食べ物がとても美味しい！素敵なところだ！と感動しました。冬の雪については、雪の季節に訪れたとき、まさかの雪がない！であまり雪の大変さを分からないまま移住してきてしまったので不安はあります。（今から車の運転の仕方を教えてもらいイメージトレーニングはしていますが、心配です。）

私が只見町に来て受けた感動と只見高校の少人数校の利点を活かした広報、募集活動を行いたいと考えています。現在はまだ勉強中ですが山村教育留学制度についても、しっかりと伝えて一人でも多くの留学生を迎えたいと思います。

最後になりましたが、町の皆様にもお世話になると思います。その際にはご助力のほど、よろしくお願いたします。